

重徳酒水 しんたけ 評論家。明治二十五年福岡縣生れ。昭和二十一年一月六日没（二八九—一九四六）。本名來助。筆名酒水生。朝日新聞社入社、記者生活の大部分をパリに送つた國際通。最後は出版編輯局顧問。

著書『現代のフランス』（大正十年十一月十日大阪屋號書店）、『懐憶の佛蘭西』（大正十一年十二月二十八日國情研究社）『國情研究叢書』（、『新聞記者打明け話』（合著・大阪朝日新聞社整理部編、昭和二年四月十七日世界社）、『フランスを中心』（昭和十二年五月五日京都・人文書院）、『歐洲の運命』（丸山政男共著、昭和十九年六月十五日高山書院）、『元帥マオツシエの必勝戦法』（昭和十九年十月二十日文松堂出版株式会社）等。

